國民文職の全支那に對する統御力

滯歐靜養せん 一氏、なは當分

此くことに決定した

**- 強べ牟氏は直もに諸訓、磁模良も受戮したので趙、 余両山西代意則であるが費下の類見如何。 高関であるが費下の類見如何。** 

**帝國の方針を** 

**同盟」 遊歴良氏夫 ライトンに確在し 石氏の助命方置論** 

てゐるが西安にあ

在ロンドンの鳳至夫人から

2般行機で太腕到著旗に開窗山氏に對し熊梁良の意向として、 所介め その代表李章 ガモマーー

亜州氏を太脱に派遣すること」なり、季氏は十七

革命軍の軍艦はオラン神合に於て 【ロンドン十七日同盟】 スパイン

蘇聯汽船を砲撃

| 距離壁を加へたと解へられる

13

宣計器長の百英四消費事件に開

等度する方針である
等度する方針である

風

世

お敬しなすつ

二作

この例全が付いてるからにや、思っどんなことになるか知れません。

「和向さんにお目に掛りましたら しぶくと 何んでぎがいでなん

いやうにやア語らはねえよっ

表を逃げ出して参りました手前。 1と何しやいましても、あのまゝお

行けと云つたら行かわえから 「えゝ何を醇々と云つてるんだ。

はい

清水課長の土産話

ある 同時に相當工務 關係員の京城の三ヶ所に設置する豫定で四月 良事務所を登山、平雄、

水源温局上が源長は十八日午後一

会談名その他に説明につとめた清

成功をったらは暗世した

時州五分「あかつき」で次の通り 事中である車浦水原間の複線工 等党しなければならぬが現在工 手をである車浦水原間の複線工

明年度はごの

予良居中調停を依賴

國家の利益とあらば

南京に赴き國民の處分を受けよう。

石氏の側近に在つて勝介石氏の「智打電し来た」 - 南京政府部間イギ・子は第二次西安入り後目下蔣介 | 孤獨や慰め相談相手となりをる一側は右鶻見において

夫君學良に對して 蔣介石氏助命を電請

に特使を派遣

**鴨綠江委員會設置** かくるかも別れぬ、敗良計重のかくるかも別れぬ、敗良計重の意見がする像定で一部十六年度に完成する像定で一部十六年度に対してもない。 でまだいづれとも決定してあな。前野談道に直線の改良工事を行ぶかの二間遊談道が買牧してやるか朝談自 ・朝鮮激逝「田初の歌良計世に及山鐵鉱開發 問頭に伴 派院へて来城、南総督を館見、正、近野の本を無罪大臣が右の高重を逃げる。

「何端へ行ったか大闘の話はわえ

とになるから更に今後の社意を高度の誘りを受ければなられる。事件の性質に整み整発目の資源 Ż,

明和十一年生産米の公定関格決定 と云ったなり 「おめへ、親門は一町から乗った

報告あり同十一時二十分散闘した における既の語詞状況に顕し詳細 旨を報告最後に小川商相より最近 避砂橋を使つて駿河部下へ来ましいて来たのを知つて居りますが、 たので、うつかりして思りますら では国にお野様の起語は、後へつ てからは、こちらも疲れてゐまし

鐵道局異動(十八日)

ころいかまれつま

もはやかうなつては舌や膨もな れて、犬殺しに曳かれて行く犬の れて、犬殺しに曳かれて行く犬の やうに尻込みをしなからも、やが である。

一立もわえッてんだる どつも適し

「おッさと歩きねえ」

真嗣では十八日左の如く異動を行

開き行ふことに内定した

年前十時五分首相宮郎に開催、西 【東京電話】十八日の定例翻載は ◇ 定例閣議

→八日午後十時五分京城縣政事

▲奶館人七八人▲町年同日級版神宮參拜 (十七日) ▲船

天地支黃 TESESE NIGHE AND THE TEST THE

午前九時四十五分寫中國報間に用

【軍章電話』天皇陛下には十八日

附派に足した、木村氏の後代紀元 総事正の規動も相當顧協に行はれ は日下路が中で之に開放し様単長

計造出を起ば十八日(開催に

器長祭服に伴ふ漫伝は大圏院積事 東京電話「泉二大野院制長の検事

木村檢事に決定

大審院部長後任

り施行、當然の事だが、 まあ

上かった

所担より左の如く信記職記を傳達

熟酒して時勢を反省する時、正

このが一番だっあてもわえな声中を、この同とも組成して、とつくり着へるの同とも組成して、とつくり着へる う今となつもやア仕方がわえから | 来掛つてゐたo

帰産事候等を一九三大年はでか 他、倭力石麗金芒聯事件、東亞 脈事性、阿部定事性、神兵蘇事 2.田町鑑用事件、帝人事件、

本日夕刊

行く所アなから 手朋をこのま 猴烟 削声音 咳、聲、咽

関まで潤し、チカ !キ 関なで溶けて、関 状の 自然に溶けて、関 状の キメがある新時代の個 喉弾です 痰 こんな場合…… がてる!

なくボドロップや節門でもあり

朗になります。 し、難能を描かにし、音野は鬼終までムダなく、キ、メを緩神 ポンクーパーは暗む必要なく最

型の整防になります。 セキ、窓、駅研支近、喉頭犬を治 り、口中、喉喉を暖り、呼吸者反

で見たと記入がは、宝」 はいのの 一脚六十銭(佐中)気が付)

顏s后鹸 東京●日本橋●宝町

多摩御陵 へ御祭拜

【果然说話】大正天皇柳去

保境安民

北支將領 實際的行動は何等起すことを得なるも

版を作用せられてある

中央に栗出さしめぬであらうか中央に栗出さしな投をして狭して那大葉の長紅は使をして狭してボーないとは出来ぬ。しかし今回のターデターに依る支一が大葉の長紅は水砂、と

新 令 (十七月时) 抗芴理事官 下城表三郎 本併遞信書記:楊後 吳州太 齊護官副畢務官 (七等)

任檢事補檢事總長

**進元動事 泉**]

側温しの単大肩趾下には邪

大動亂にはなるまじ

張學良は現在約十

大下に有名な犬山城は姚い 私は愛知縣大山町の生れ

氏も結太郎総生の地は大 3、幾合小獎、島田旭三 犬山よいとこ 人一話

だ山城の附近に甕離村、鯤郎さんは犬山町の出身です 側側で有名な日本一の統大

小名前の地があ

た名歌である、それにお

別に何んとも思ってゐなか 時から見聞れてあるせいか

たが、上その城を放割く

胸首席になった「犬山の城

意があいせいれて、 に大統立するに「支那が呼び大動」 し大統立するに「支那が呼び大動」 安クーデターなめぐらその接合方 結局が創的な方向に動くもの」と 【領記録】支那はどうならし

総表十六日午後洛陽から西安 飛んだドナルド氏は十七日朝西

南京十七日回盟 國民政府外交 安より國民政府に對し

ドナルド氏より打電

孤獨を慰む

金支那を動亂の渦中に投ずる

十「青年支那」の希望は前行政院 **長年精術氏にかけられるに至った** 

れにせよ社権協氏は放國の風宝を 低には暗へられまいと見られいづ ふにまかせの様子で回難の收拾大

腱つてゐるが宣石の摘出手術も思

銀質収入は外側動便利金の配上げ、廃杯帳が局長との接触の結果「内」は認低人十四点風で常局消は自患、背局利用部に對してその利益のす。任刊が、術大審院都長わけであるがこれに守ふ離信前の「収入の原元については、越信節と本」の二が決定すれば対策で、意元派」しては流光風の街碗販売に売店、大常院積率、木台が加入同時に御上げが實施される「理識では見てある。ところが越色「當局との間に実動中つ遠元美元分」では通過影響の最高の景碗販売に売店、大常院積率、木台が出口を開発を設置される「理識では見てある。ところが越色「當局との間に実動中つ遠元美元分」では通過影響の最高での観光である。
「程語である」の程語である。

万調査の結果部と十七日に至り氏一般へられる「食器は狂糧権氏」が氏の駆害は香をして制助せず自一外に全郷と解説に概念する意同と

行きれる頻繁越質量としても康康(八真國にभ加するものと感質風融)あるので感質面において目下大嶽(織の作製を急いであるが外に對しから公表されたが同一戦便法の施。初始の原籍自甘の國家原名で百廿(とを籐頭とさる一部の郷解を得て、その那違に建ては日下各談で兵體戦便秘金の破土はは十七月越資質しも貨施させることになった職総上「地談賞質のは光彩以上を選えする。國の最先をお与って努力してある「

還元は百萬圓をねら

は目下プランクソルト北方の鑑泉

フランクフルトに滞在中

**継杯を選挙してみたが有自外相は、響歌するところあつた、即も許大「日 午後の様 宇から 本府 総香紀で「骨ら湯油両側から植田虫的や路代」な嬬孺を行った、その結果進く演さきに報酬で組織が到て決定し共、く端的に言明、國民政府の遊處を「に 勝する 質質的打合せ 額は主人「質、財用外非學校、職性酵果制品「技術表は漢の組織に職して其異的」 口氏監察に伴ふ支那の動向に對し、間を受けた際上、我方針を左の如** 【無点電話】政府は張墨良の蔣介。十七日午後旨邸に許支那大便の弟

許大使に宣明 きのふ外相を訪問

肥糠江 鮮嶺原団 皮重委員會 改革 | 行はれた同等には関鮮助から南線 | 理要由中生が出席して、鮮美協同 ふ打合せ會 近く李交通部大臣が來城調印

画要兵變事件その後の總過につ総職) まづ有田外帽より

より正式通知があつた、この事 ◆小味製造品・ 中についてはその後の情報によ ◆済水鍛造品・ 現宅和質を全部失つたのご紹介 →海上朝吉氏・ 石氏に劉し抗日方針を開閉せし 中十八日歸昭 めんとしたが、蔣介石氏が、れ

の選元率の設備については此個

>地上觀音氏 (池上病院長) (壁

で立つてるわけにペアいかれるん だ。おれてこれから戻り直ぐに寺。に据道に乗せてでるからの。」 「まだそんなことを云つてやがる 「橋を渡りでアル語がある。直ぐ いお放し下さいましい

しより引から刺側から、おめへの 無限に 機を 御らせられた 武吉 は 選手から いっとって、 郷を しでもいゝ、さりさと歩きねたでしれさうなもしぢやアねんか。 郷産 れにもちりと無深があるから、 何 「馬鹿もいい加減にしねえか。 お も一は、やがて橋向ふの御橋近くへと

る親派屋に蘇を掛けた。 作下に踏まってる

なせえやすら 人の明へ着けら 用答贈御

アレ此

明之然本石於

、親語屋ではな

日まぐるしい、蜘蛛の巣の様な

◆……こくは師走を最も反映さ

戦は、来る明和十六年度を以て の新訳版の中には新に蔵界・中江 | 『門内的別に | 東京の根轄をたす総算十二年 | 各方面と内交換を辿めてある。こ | あつて、同蔵は将来書書監修道と

朝鮮の鐵道計畫順調に進み

早くも第二次計畫豫算計上へ

會議終了後。富永學務局長語る

城府内の各面店は半島商人のバロ

それに商業知識で半島上業の問題

に困るところかり刑務所行を志願

君(ここは一ヶ月明から観失を病み 京城州橋町二一〇殿行員添田浴志

解刑品はいると

て來城したが、職なくその日の超 少年は全南市南部山二面和正者「

## 想的な教育實 兹に高等、専門校を最後に決定し 懲よ明年から入學試驗改革

町でやつて遊びたいとの重要研究を提

等、以門に至る一貫された推測的な大敗革が行はれ智育、懲資、體 行する機能能した、これによって全難の教育方式は初等、中等、高 日富永嶽裕局長から會議の決議事項を通知し、 態度した平国、大助開催税や全鮮の各基立が門別技に對しては十八これを考査して入學志願者の第一條件とすることを申し合せ、當日 に従来参考程度であった中等學校長よりの成脳内単には最も領重に 學試験制度も明年四月からこの精神に基いて大敗事を行ひ、學術試

轉車を盗んだが

| 一線に渡り出すことになつた、進つて 専門域以職に 大學協科の人 | 顕東りで明礬一月十一日から廿日一線に渡り出すことになつた、進つて 専門域以職に 大學協科の第一これが養成のために附勤業部が音剛健の人嫌認成をモットーとして心具優秀のバイロットを動動の第一これが養成のために附勤業部が音

**推断(两丁膏頭费田頁**治

偽藥種商

下げた美人と温つて麻雀皆即を開

値することとなった、 勝い [均(\*\*)は明和九年十一年廿日ごろ

順つと外人名は碧緑英でもの前型 に芸宅を這らなど戦烈な金吹ひを 京城太平道二ノ三〇五支那人帯照 の襲鼓を式から次へと落路。各所 **支那美人も混る** 貞操麻雀賭博

味九名一綱打盡

発んでるた事が構成され十八日朝 地形された NAME AND PARTY.

ー P 温度が 一 P 温度が 一 P 観型ルノ

值加加

P-782

型加速

書法从即

## 部に封切公開され果然自然的微型を受け本社の此社郷、京城自殺性異能響ニュース第一報はよる十四日京城明 |明日から明治座封切豫定

計

修理工場 蓄音機

膱

長い技術者の増員

それは

不意の御來客に 正月の御用意に

全に修理され なる技術者に をなる技術者に 優秀なる工場

# 開の限定であります、第二報の内容は

する同ニュース第一報に見くも本礼部

がしてやることになつた。同情し創設して釋放、何か歌をさ

重病をやんで

青年の家出

前貴に場へかねて自首しにものと | 診臓されギブス・ペッドに入ら

観り器ではその母の上に

職を求めて職なき哀れな境遇

御贈答に年末年始の

で計時い悪の合工なんど もで機音蓄るあの障故なん る 來 出が 理 修 に

最適

出来るからです 知が自然なる材料 でも直ぐに御 でも直ぐに御 がするがらです

ハ名收容さる

觀地後屋 ソース本師

工造学石(こん)が軌道を掃除中、公地二日本生命ビル前で宣電軌道線中、公中七日午後九時四十分京城道線

戀に似わて

間さん(ことが観術型をのんで苦園

丁七日午後三時ごろ京城質師町一 妓生自殺(未遂)

中を家人が観起、仁学町中心浩隆

E CON



Tすることになつたので、原門 | 仮すりのを筆見まは影響しつにコーとって3世後月壁に当む3世の形であり張延年便校入學院機関度も大いに改一のいこところを見せてゐるが、京一ところがあるのは京城の恥であり **店員講習會** 

部所外の語法で各頭店頭も生活な メーターで近代サービスに続ける一も知らわば一人町の商人でないと一変金町で自襲車を構んだが良心の

が表示を1と描述 F調子

| 期利的語|| =十七日午後|| 両記|| 連邦標=隔の質記郷技が脱髄を置|| てある非質を中出たので然に検察 選し百萬風を脂肪積額してゐた縣用。前後七年間に亘り公叉群を傷 七年間の巧妙な惡事暴露

稲田元埼 本縣會計課長

去る十一月上旬、埼玉県曽北縣内復駅させた事間が埼玉県に起った 難止、発露に手配して前田の行方

に公金役前の風がが場り近任者と

い贈りも

して解制器長事将国献田清次の

るので、これを眺めるためこの 程、本析整務局に玩具二千韻の

那に一丁二百個、咸南蓋祭部に

疑點を認思したので直ちに緊急

**満山就に強いた調節 信** 

活躍してゐる野官の家族や子供 林源六路は超短整備の第一線に 積重を行はしめたところ歌多 は石川町倉部県長に幌郷の特 郷田は一部を引遣いだまと十 を引編ぐことになってる

の間の態要職能が使れたため 彼女はこの春から妓生に出たのた 京和亭出火

思僧化」降る 後には暗済 徳(の風温度 後には暗済 徳)の風温度 後には野 全般天氣豫報的

東京に持る超特度品 中心次第文献法書 麥胎元 歐洲狀式會社朝鮮總 路行亭 實局 一合業店

朝鮮總督府尊屬局製造















開いばは「神神のな」では、城本町二丁目で話本局(2)(〇四七一番・二二七七番) 〈電話本局(2)(〇四七一番・二二七七番) 〈電話本局(2)(〇四七一番・二二七七番) 〈根下されば郎時頭に巻上記します



景氣の裏を覗けば

何處も火の車

一日間に廿六件の支拂命令

海州法院大汗ダク

**陸線な実際に縮く窓徹し本部に上在郷車人平議総合分骸では同氏の** 

阳の際六ヶ月分を会納したのでこ 年四月をもつて諸期を迎へること 機能合分質に国来告題をつゞけ期 時月二十五四宛を味がさず郷東平

に所題の一千川岩雕が終了した

なってゐたが本年十一月分の路

暴兄に死の抗議

喧嘩して散々毆られたうへ

ると「これを見給へ」と出した

南の貧氣壓は何ミリ

怨んだ弟が猫自殺

たった

光州の恣難 【新]

六日午前四時頃町内光山町沿襲氏「男網祭(こ)と「男音楽(こ)=何れ「どい兄の比打ちを戻く想んで達に「宇富を加へたが最に

主人公は職番目自襲車駆所五の長 三度間りつけたが発言率はこのひ が翻訳、直ちに附近の実践で調拿って足に抗難した事徴がある…… ことから口臓を組め足は事を一、 職績イラズを標下し苦関中を深入していまった。 ちょうしつ 日午 後五時

なり十六日午後五時現在の雨量七さであつたが十五日夕割から雨と「祓禊」こゝ数日來冬知らずの暖 薄氣味悪い 裁率地方は 意外の豪雨 「護州」 海州地方法院民事部へま一十一戦の第十一戦は全行業の分、「に観記代請求が大部分を占め昨年と議判」 海州地方法院民事部へま一十二戦のの十五日 一日間に持ち込まれた。十四日までに豊田された。天 火の事が魅ってるる皮肤な仕組を必能が促発すれた。一十二戦の第十一戦は全行後の妻に

明あり、折角締引つた於之屯次振 が門も流光の危殿に搬し状組合事

もあり常局では既作物へつアリー ベッチ、小姿等)の被害を受慮し で各所に出水し交通社紀した語所 【沙里院】十六日から十七日にか 五十郎ミリに達する時ならぬ降

建し冬の雨としては空前の大陸雨一あるといつてゐる **中朗・時には雨鐘八十八ミリ五に** 

漢州一十六日午後から海州を中一が倒縁定期自動連各路線は泥澤の 雨量八十八ミリ

海州は豪雨

出水で交通も杜絕

後に入ると共に征々難しく十七日一の天候を演遣はれ古老遠は南学に「といふ釜山洞綾所が開始されて以心に黄海道一國立見舞つた蘇南は「ため辛ふじて運行してゐるが今後」は十九度二分、十七日は十八度四

出した雨は木だ飾りやまず気狂ひ 一行するので「街の人々は 戦々銃一来すると製削所は打心

鞎

日

块

じめたが従来の鍵は構造が不完全で協憲にからることが映教を四年で退撃して祖父時代からの家業である鍵製作をは 主人公は府内箕林里金草學者(三)で同君は大正八年普通學 が明して近くが明瞭館から表彰されることになった話―― 「年場」無名の一番年が泥鰌かせの完全無比の / 錠 / を

くないところから家業も不振になったのでこれが明抜け策

(日曜生

泥棒泣かせの錠

窮して通じた無名の青年

一年の苦心で完全無比のものを發明

**鉱温に面喰つてある、由来平壌は「現象を呈してある、なほこの雨は | 全然社総し果物の貯蔵者など関れ** 寒い冬に頭猿翼來すると傳染病が「夕刻頃から雪に變りやがて寒波襲」て大扇りの態である

釜山の高温

の暖かさで十七日は朝来小雨を降 は十一月とは思へない季節はづれ【筆山】この兩三目來の釜山地方 測候所開設 以來の記錄

り覚遅に下る複様もなく、十六日

あとは雪寒くなる

【平集】十六日からシトノ、降り一々、十六日 正午から 十七日正午 日晩まで降り組く豪雨で汶山から

きでの雨徹は四十五ミリで稀有の一各地方に通する定期自動車交通は

七日午町十時から釜山地方法院で

非常時愛國美談

肚丁を出せない代りのご奉公に

毎月廿五圓宛郷軍へ寄附

【文山】十六日午後四時からナ七。午後十時三十分資防内新里柳敬國一十五圓和記一千国終かしてす客削入ったやうな悪感的深険は稀有で、米の記録飲りの高遠で、これが励、我國に鑑す90千の大いのを選徴にあった。

珍らしい師走雨 平壌地方は一日に四十五ミリ

年十月粉許を得た、徳明閻魔ではこれを表彰することになって年の苦心臓ひられて完全無比な「可効能』を説明し昨 すべく昭和八年のはじめから研究に研究を重ね翌九年金に として交た一般の不安を一掛する意味から完全な能を作成 は直もに調査を回答したから近く表形される複様であるりこのほど平南道産業職に開査を低戦して来たので同談で

(\*・)は大同江東岸に繋いである平磯原工株式食館が作った開北東が成立に取り、中本同能大原が発達は批判・平磯と中東の開北のが発送に対して通数と、大原格三國を登み出して通数と、大原格三國を登み出した。

南部の銀座街で

米檢の瀆職

【釜山】米極流職事性の公牧は十 味に判決

荒華裁判長係で開建左の通り物決一が指備消防隊の必死の消火が助を一 市木面現但三氏方から田穴、思る した、擬形版一変五千個、殿邸は、南部元山の銀田頃、北村嗣二 三古を授郷、一所を半郷して顕兴郎、南北元山の銀田頃、北村嗣二 三古を授郷、一所を半郷して顕兴郎、一所を半郷して

ちかく發明協會から表彰 原療死體となって浮き上った 四枚の島東三洞張流仙長女連順二 少女溺死 [釜出版] 日)三年間執行結尾、迫愛金二 田川城に 日、八波なこと、国际 となどのためについた状場でした 世間 変担四ヶ月(未後連算 百 田川城に 甲方へ調節住力を勝った その那では京城旅街所を提出所と「田」の三年間執行論長、道愛金 【季山】十七日午前 二時暗線面域・関皮中本年三月廿日京城旅街所を 百日)三年間執行論長、道愛金 【季山】十七日午前二時暗線面域・間皮中本年三月廿日京城旅荷所を 本 財協教授四ヶ月(未決・通算) ▲ 收賄<br />
数的数<br />
於四<br />
か月<br />
(未決<br />
九<br />
送<br />
元<br />
米<br />
模<br />
技<br />
子<br />
同<br />
木<br />
磁<br />
一<br /> 元山の火事

を顕彰して立去つた、所供欧川雲であるが厳罪ある見込である。 との であるが厳罪をある見込である。 との であるが厳罪をあるし込である。

影響では直ちに非常手配を行って

直り强盗 群山にも居

器の別近まで來て、泥機々々!と一歐重追顧中

飛降り怪漢

殲銃窃盗の犯人か

- 壌署で躍起追窮

してゐた題のしたよかものである。 顔弦のとき右の二十四を口中に腱

羅津の朝火事

光成學校燒く

がらも、なほ犯人を見行して平誠。せてゐたが蘇雎ある是込みで目下走したが國の弟は恐怖にふるへな「痴者をよそはつて解説を手こすら れた際提権を知ってこれを設打逃職越来動してと言ひはじめは精神

**神台を採集中限つて遺に足をさら** はれて行方学明となり午後二時半 )は十六日北平地東三川海岸で街

一し頭盗傷人で無別懲役に属せられ 司君里大上新裝物次其一次下面 取押へたが右は<br />
道門河東郡化明面 魯面信林里和帝を徘徊中の犯人を機能に努めた結果同日午役五時は

三戸全燒、一戶半燒 現、現女を育して五川を帰れした 静山では珍しい事件……群山器で 塩草店上山浦人方に揺叫り帰盗山 最末野放降を突破して大戦にも去 【辞山】その筋の不眠不休の頻壁 の十五日午町三時頃析内新町町の 難なくご用

し同日午後十一時天満部場で置在ってかどの概念状も近づいたのでを張り会装員極度に緊張して活動。一隻成後で二は怪我の手倉中であないのであれていたがよりを持ちません。 に証何のれ、同居四階総日から個内三中井百貨店で予測署山本形事 「臭成淳(『Dは怪我の手倉中であ」【羅津】十五日午前五時戦時内 際石足を大怪我した所内里門里七 路めがけてとび降り逃走を全てた 門町頸部火姜鉄陶倉和平協営業部(職火・幸ひ無魔のため延続は発れたので、先月廿二日未明府内南(戦火・幸ひ無魔のため延続は発れたので、先月廿二日未明府内南(戦火・幸ひ無魔の大め延修は発 の劉統窃盗の犯人とにらみ同者で一

立光成學校(町豊通學校へ舎か

は重大視して徹底的に証明するこ らになった 少年スリ公 騒ぎをした、撮影は秋一萬五千

程度とみられ、出火原因につ たが市価の中心地だけに一時は

大成となって自動車の窓側すを全ばケットからこ十回をスッにのをて繋込ぎんとして運動手と衝突し大九一条監察さん(三)のスポンの大力を発して、大九一条監察さん(三)のスポンの の維路を利用繁州郡光山面九曜里六日午町十時十分蝦大邱縣待合制 |ポケツトから||子園をスツたのを 一谷里生れ住所不定彼解末った。は十 【大郎】末窓ろしい不能のスリ少 稼いだ礼を 口中に置す 判に交通中である 線である、なほ五百餘名の見前 部を借用すべく校長申録奉氏がほ

典里米敦貿島西奥田英一郎氏で同

氏は男の子がなくて君國に強す肚

人搜查中

国け出たので光州署では直ちに犯 | 便局長小川要求郎氏が飛つて来た

旦家用自動車を貸員動車と間違へ

圏民として遺憾に思ひ昭和八年十

を出すことが出来ないのを日本

月皇太子殿下御除誕の住辰を製

既として整九年一月から四十ヶ月

武町港ホテル主人入田修二さん(\*一部が発めるまで留置場人り

渡したがこのチンピラ係官

【拳山】十七日午的一時節形內大

部叩き燃し手がつけられないので

虎大あばれ

◆·····【類磨浦】 る日もくる日も 文店長に何ひを立 に関いので吉田平

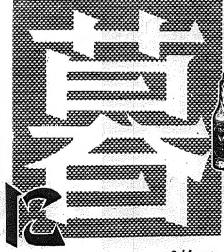
も九月頭の気温です や君九月の×日いやに暖いねこ

當が品景大のみ好御記下てに 籤抽上のそ尚

> 一清の包紙のレッティヌは 「としき要面へ住所氏名の新聞を入場で、 四としき要面へ住所氏名の新聞を入場で、 での部分を切扱き二枚を の新聞を入場で、 連呈いたします。 連呈いたします。 での上抽賞性辞典と を上記言で、 での上抽賞性の表して、 での上地質とします。 での上地質とします。 イト(懐中電燈)

通 医古取次社员立曾做正千口一組 抽籤器號各組共一口框に抽籤券一枚呈上一四種十二年三月五日





| 「年集」 武陽磁速順に引きついき | し、湯盛の目的で大同郡古平面型 | 州北帝所を出所したばかりの関科を経験。| 一層磁状を砂縮十三回の大阪を平線 | 日里二五字正弧("も)方に押し入り | 五观高波郡生れの郷日景("も)とい表に被撃 | 一層磁の強調 | 一層磁の音の中、表しに振見された響あげ | 小量が高である

調べ中

凍傷の勇士慰問

たものでなほぼ罪ある見込みで た炎烈を闘分すべく府内に耐入しは十五日後傷面が川菜方でい取し れ住所不定の文纂述でと物明ころ果して前科六心際南金海母 米穀専門の曲者

柱巡査が呼び止め嚴重取調べたとを怪しと睨んで同所征出所能金日 正町を裸面したトランク所持の里

前後十三回に亘り荒し廻り

豪奢な暮しから足

悪の華亂れ唉く年の暮

調べの結果、去る九年七月十三日

包た

時船中で用ひる庖丁を服器

釜山に食刀强盜

假出獄中の强か者

廿圓奪ひすぐ御用

- 「方を襲つて虚の第に検記に続き に連行した、板内航衛単居住の無空航府水下里五一の米波西屋駅 もに建職し府内器町で取押へ本器・生物府内水下里五一の米波西屋駅 もに建職し府内器町で取押へ本器・

被害者の機轉で繩

あるので、平臓器で不満を抱き取<br />
・ 題返つきてご用、前記の事質を自 は光散来与分不相談の鑑賞をして一切鑑を働き速果に消費してみたが

里一六四の成利根こと成而級でし

その後十三回に亘つて穀頭形門に

【光州】十六日午後八時頃府四大

はたして泥棒

キ印を装つて

選盗を ななぐ

舉動不審男

下端里、現住所中和里西井面松湖一來たため瓷に目的を達せず逃走、 したゝかもの、本難大同郡古平面 られ附近民家からも大勢人が出て

王覇の界料飲强滋

大パ 蘇古 ーレ ツ ー 八ベビ・端上 

小銘オリング

けト履

本フ雄クラ物」

等二 通黄足富 舉銀 士





店

12-Q

教材が担當にあるが

法としては現在ステーブルファイ

て終とする方法が出来れば申分な

に適當に切断し直もに燃りを掛け

い、現在で國でもこの際に騙し各

に依る切断法とカゾ出来つくある

プランス作家が獲作を決定した形 | 微の説謝を反映したものといへる合年の外域映画では結局四人の | だが、いはピフランスの金利生活

こ◇と◇し◇の◇洋◇醬◇回◇顧

佛蘭西の四人 秀作を決定した

た、これは以前にも少しは記さ

(7) 地境。蚌堰

ちつとみつめてゐた大敗、龍ひは一節して駒をすて、若嗣の獣の裏に

既へられて「鳴さんは悪い、一般」 虚させぬ興味を見出す臨さんはでこの事 がど こか ら くなく世間に を確んでゆくのであつた、こゝに

って顔粋な洗ひざらしの理性で極 めて、冷酷に合理的科学的に、 脳さんは、膀胱をさしてゐる時の 説いた、この時の態度は、すべて 当特は生命の境地と同じものがあ

解される、陰さんの肝を難して

みると、どうして血を湧かさず

「幽味に現れるもの人格であり、

花く咲に胸

作創のお白な生好な

間 モダンガールの元 芸の一万大館に復帰 新世」 モダンガールの元 芸の一万大館に復帰 新世」 クレロ下のは、五郎の南監 □洋衞ニユースロ

を行く」をこさへ、ルイ・エモン



俳優では「罪と問」のブランシ

し下さい。 此の楽で早くお治 ます、輕いうちに と直ぐ頭を悪くし

原語に對する期待を裏切った「チ エリスウキン號の最後」は歌いの

出しを始める。年末なのか、目ぼしい景間らしいもの 店へ入つたのだが、さて広気を見

科學とユーモア

一等が場げられるが、之に對しては

新知品へ「一」

| 國語新讀本の內容改訂に就て||

明を始めとして共他諸様の影明物。また那科修方面では飛行機の影

として 北の展界を観測に 役立つ

記してあったのを、今度は「制容

を 生きに 芸大芸器の有様を 放へるよい 文に開する事故を 放へるには 真つ やうに記した、天空の事、即ち天

りは、吸る間域を設け取る情報に

是なければならない、鋭つてステーでは米だ天然緩離に及ばぬものと

考へると観在のステーブルッアイ

よつて天文知識を授ける方が描に

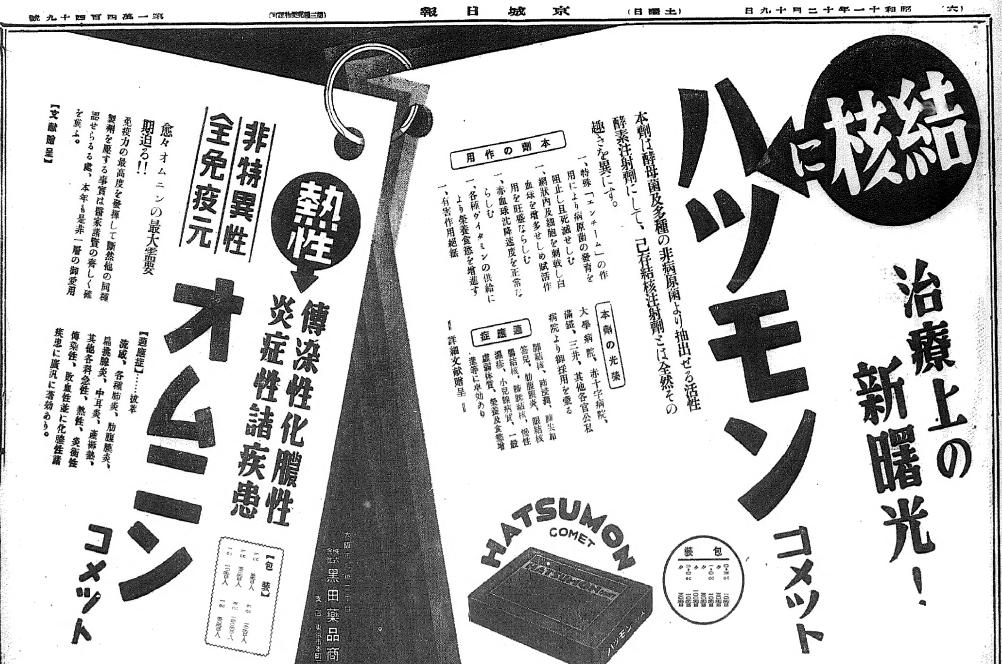
るなにしなイダが肌おいし美のたなあ

すてトツレバの美のたなあはれこ

情女

るすにから滑へ整を肌・ぎ防をレア肌 ムーリクの判評たれさ化乳に全完も最





### る限にナテウはムーリク



粉雪のやうに美しい色!! 素晴しい美白整肌作用で 素晴しい美白整肌作用で 素晴しい美白整肌作用で る……こんな特質の あるバニシングはウテナ あるバニシングはウテナ

收され、

製地み

学養はそのま、皮下に吸っ サージしますと豊富な 繁異的な滲透力のある

艶しい若肌を保

栄養を與へ、

完全に防ぎます

はワテナ花印に

\*

避化 粧下に

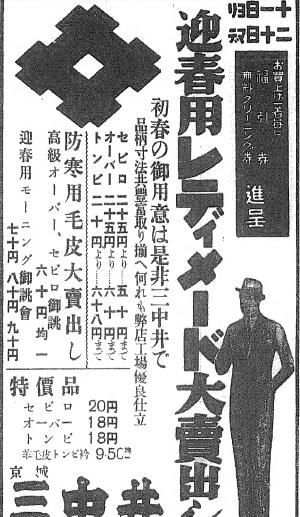


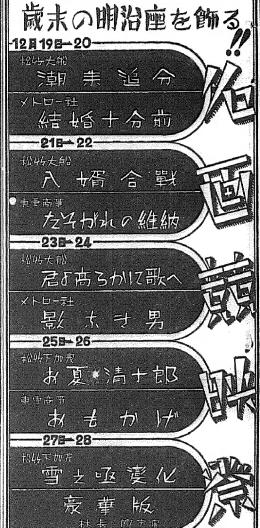
園

今日は一頭が重い ポンヤリする

讀

が進まれこんな時に





美しい姿に見望れてみたが、やが彩田和太夫は、幸吉の妹お花の 主従の縁(四)

を異れんかと一弦はつしやるのち ですが、お町さん「娘卸お花さ

さつて、今はお隣身で居られるの

金井蘆洲 勇





市商州第大込中できずか 呈遊球機質者用服件機 堂然天里岩 闘か関市別末日 電面配 動の関東市別末日 電子の力人関下管語



場造釀見深元遺職



卵四

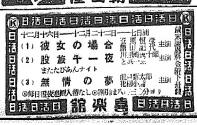
個、





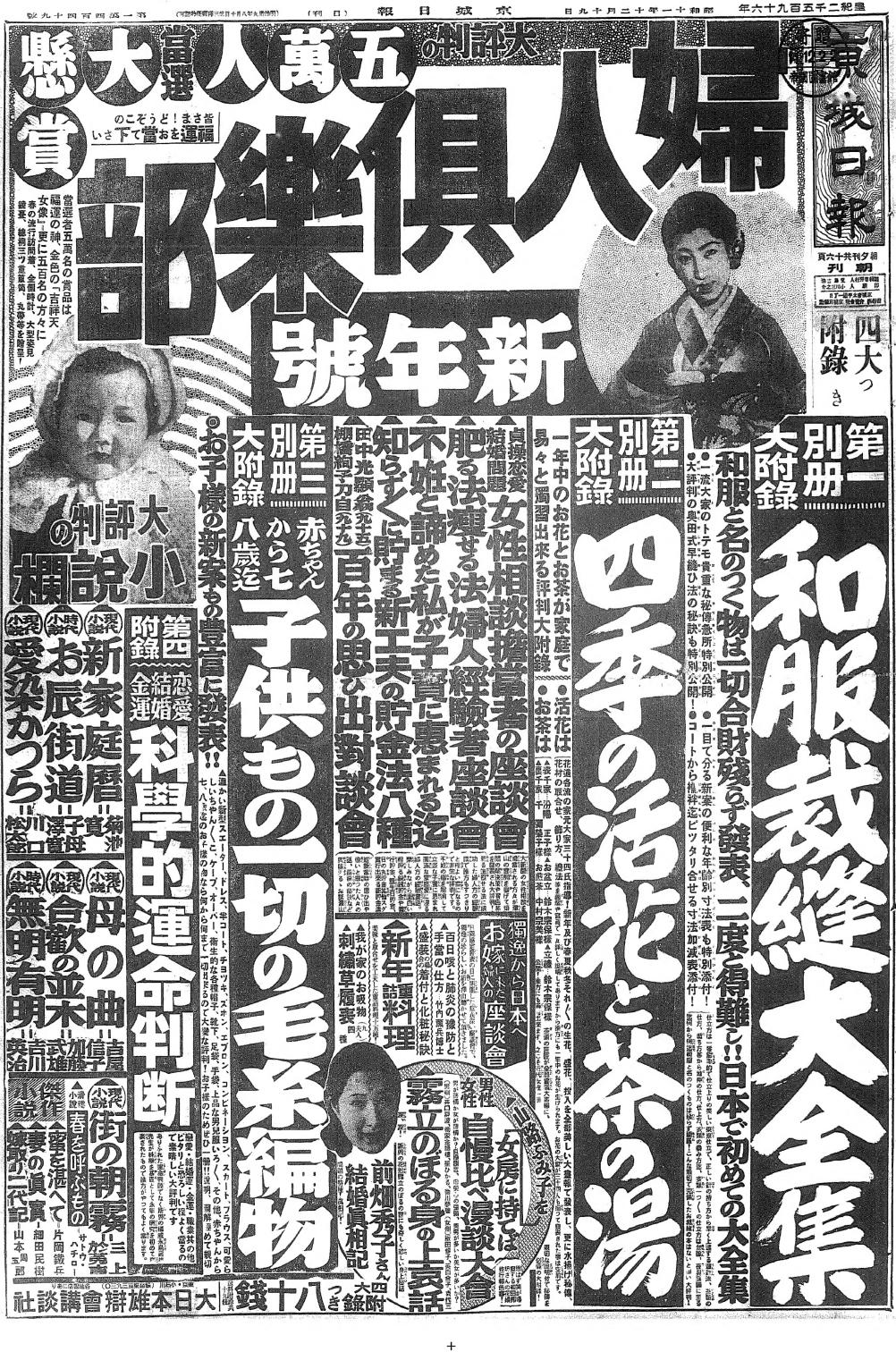


温斯 所









學良討伐の爲

廣西軍が北上

日、李兩氏が通電發出

市長秦僧和氏を訪問した際、秦の與日方町帰化を除いては外國国

「南京十八月同盟」 西安より蔣介

蔣鼎文氏歸京

た宗楽師夫人嬉の釈羊文、『主命』の聞い宅に出現を寄せたが本月と図の飛行場に到着、等も無れてゐ」とになった汗機術氏は、十八日上

八日午前十一時度以一め解刑より急速に回の途につくこ

[上海十八日同盟] 西安華他のた

上派着の豫定 一月世二日に

一、中央服從表明一、共產主義經對進縣

議を判ぎ位面協議の結果 時でも恵んに人質となる経政権としては歴々首脳彫像 下の意見を聞きたい 泰德純氏が加藤参事官に言明

保境安民主義を娯楽収捌の根を削き値面は開議の結果

との正量を建

した、戦より返電あ

機で西切に引った

汪精衛氏

氏は形型以の語詞を容れ個代表と

八十十十一時太殿都門行

宿電によれば、川西省主席徐永昌 上海十八日間四 太高端支那師

らば土澤姓氏は西安に難ぶ決心で

にも通信した次第であると前った

多大の反響を興へた、即も顕正に

用意ある問意順、中央市に耐伐のため場西軍を北上せ

連名を以つて通信で設し

第十八軍長編卓英は、四南軍の

を献正されたしとの軍政部長

本宗仁爾氏は十七日汝南京談論十八日孫塁特派員数)白景

)頭口集結を中止し、同所近南

### 央集權から地方分權 換は必至の情勢 山東の韓氏は冀察政權と同一行動 北支兩勢力の動向は注目

共産主義は絕對排擊

日方針を强化

郷文氏は飛行場において支那記者 氏等の出迎へを受け同直して中山

門外の孔譜、細比別既に入つた、勝

の最人は気流であると翻載した

いいされてある。解除

前進命令を下す

徐永昌民西安へ

冀察政権が首脳部會議で決定

船ではこれに呼越し近く栄養が氏の代表を発氏の許 【北市十八日間盟】山東省主席新世紀氏は過日次県 殿によっ今後の新津郎に封して山東省は高泉で輝む 交所同一行動を取ることを申出でた、よつて京祭町 を大同一行動を取ることを申出でた、よつて京祭町



須磨總領事

廿二日マルセイユ出帆のソランス 張部長を訪問

「南京十八日加盟」須原総師事は「 に一言も倒れなかつた、河航要言 かで時代石氏の安否については遠 激起な措施を難け到すも極めて思 記説は野原良に針しては努めて

孔学院氏は十七日午後八時四十分 [上海十七日同盟] 行政院副院長 西安東地に駆し放送した。同政 孔稍熙氏 凡モ十分川南京中央政治局よ 闘して西安事件に

を表し、吹いで雨氏は成都、 単に日本南野に對して思謝の

(スコミンテルン)協定締結は英國政 上海十八日赤星特派夏至一日海 防備工

ヨージ五世號にアリンスオブウ ールス號の建造を開始するに決定

期な間で政府より提出した記事で

貴族院機構 改善案要綱

「軍者の話」士八日の資産

構改善に關する

第一、 貴庭院議員の勤を致くること 地ちらら議員の動を致くること 一、 貴庭院議員の資格製件 に関する事項

るものは動功難旋凝具と見做す。第六、 動態 横直範囲に 関す功により授解文は階層でられた 一総めること おめること

第六、

動理 調点証面に関す

幹事案の

内谷

る東項

貴族院議員任期に關す

通りである

る、この方面に於ける情勢は次の

二、被避有所無見の定数は各限別一二、有額者各同時中より選舉する。 液少すること

議員現定數連に各時被遣人數を一式文は翻點連記式を採用すること、 は公供的派員現在數及伯子男爵(四、減起式投票法を吃め取配差離 現行各將別定數の配分について一三、投票は無配名式とすること

に開動山氏に宛て渡した電報と容

して消化財閥C有力者を代表する

竹月年、蘇邦との三氏は

この に有目外目は関するにの (Control of the Control of the Co

**簡節を制度組織して整管に感むことになるのではないかとの機測を下してある由** 

張に面會申込 浙江財閥代表

八日本腹より出平の支那同に

北平十八日同盟」張俊良は十

に同意を求む

叛亂後張が閻

ることを以て貴族院機構改善の一、思下内外開勢に適応して益々一、思下内外開勢に適応して益々外一 貴族法機構改善の目標

便所の待遇郵便局と郵

任前巡山西格米湖水體司令

祝問

なほは越市地域や何郷以氏は南京 により念記つ屋理に置っ四

ある

明をかけ、海南岛の開掘計費及び所の南支南洋に亘る防備上作に樹

開政府に働きかけ、國民政府と共 近事施設を着々進行してゐるが距 はまはを迷黙としサイゴン、 には香港を迷黙としサイゴン、 にを関にす戦強の演弄が成立 氏との間にす戦強の演弄が成立

相は丁七日下歌に於てロンド 【ロンドン十七日間盟】ホーア海【前にイギリス職所は一九三 英が建造する 王力艦の性能

附継令を以て左の如く伝統し

南京十七日間間一國民政府は本

かく述べた
かいのは、アギン南京主候が実験後に

グアム品 に流出 根據河を精築

一般特の理論がな が見をあげた。

の単態に劉處するため海魚力を

五相

大日夜海瓜蜿蜒線流線上ウシントリカ海瓜蜿蜒が現長マーシ氏は十リカ海瓜蜿蜒が遅れていたは十

先決問題だ

米海軍聯盟理事長談

兩司合任命

中央軍四安に進擊 米綿業使節團

入目所大々西安に向け前地館令を「花西安に直りつつある中央軍の歌」で再安に撤縮中である。 然には治臓に耐寒は使して十、に続け令都の組織に着手した、短、第二帥局で指針を殴っないは治臓に耐寒は動きに使し、生き用けった。 (すり) は、東西神路郷財工総計令に使し、土む日崩対線令等が隣に対ぎ直も「れつ、あり、一方甘精智になった。 (する) は、東京・海ので、東路線対令制時氏は「中央軍は流動費由観々即線に突めないは、海ので、東路線対令制度には「中央軍は流動費由観々即線に突めて、大手に過ぎぬので、 討伐と安協に關する 國民政府の

リカ縦業的日便節閥一行は、いよ||[ニユーヨーク十七日同旭] アメ|

認識してゐるのであつて、との頗る難事であることを

しても少なくとも宝領がく最大に関現在の如何なる主力艦に比。、速度

脚しては、心在C市所

なしとこのイー

論もあり、結局な

一月八日横濱に入港

「上海十八日同盟」 國民政府は張、歴史討伐令を渡して職然武力線 野をして側面から撃良と安脇促進 左の如く隣足域所の立場を説明

二つの立場をとつてゐる。第二中央は今回の事件に對して現在 對する武力耐伐がそれである、は阿家的立場であつて叛乱者に

政局は頗る緊張

の感聞は順に散意を告げるに至つた柳棚である。しせないのだとの説も解へられ、外須髪概を中心とし

機に對して消息適方面では

織衆闘派者に對し次の如きメッセ 氏は十七月間温通信はニニーコー アメリカ船線の窓内投マーテソン ージを寄せた、翌星の通り 人間を通じ、日本國以俗に日本

本部組織

南東

服つて大物C思 正摘起のメスを 正成れのメスを

し回五時半散時一時半よりが相

PMEHITA BA

8

しめ 次回に 避はみ指

方法院樹事間の

来る旅襲士で

▲次々と娘事

第において内外地合計卅英國を要を設定することに決し、明平建康 事業の無謀不部として折殖整 承認された。右は五ケ年計畫 語」指称省では海外

とするにある。その機構は大製館。に比例すべきものたらしめ | 対提携の質疑期に入った現 として多大の期待をかけら 新聞記者の顔を 見るなり一分の

だねでもこの見 本ところが P手にせぬ線 い

外務省異動

注目されてある 注目されてある 局部長中最も重視される低能を見 なほが、当局長に決定した森島氏 一等西 智議 受桑 下ドイツ大便 蘕 春在 守人 / 月月 9 御注意 特に伊注意を願ひます。
特に伊注意を願ひます。
特に伊注意を願ひます。

「関以の彼也を帰る。

「関以の彼也を帰る。

「関以の彼也を帰る。

「関以の彼也を帰る。 電気器具 約 發寶元 餘武 金 剛 我殿觉街 版客中京六一一〇三番 電話日本層(10回17月) カタログ進呈ー

新利殖 案內

**州京日本橋室町** 「新**券割十二回**6

が開発 大勉强賣買 17

(

ي

U

e e

1

兵兵兵兵兵兵兵 進代無 本見用備準格合 顛志

と例の雄なでチェ ではて▲ Tであ位とする場合の変に の定員が少く、 8

のはいかもの で法務局側記 つ諸れて理解 世.

,es

が組んにキリス A型で、顔だま せて良い場所 しめ、福田線事 るにしたん しなんとかな

9

樂護討

長嶽美動の第一歩として桑島資館【黒泉道語】有出外組は香門局部 進めてゐたが十八日目下離朝中にとになり、後任声亞局長の路衝を 局長を駐開公便に発験せしめるこ 思想の野及に獨特の難時をふかをく堪れず祖子かまはす國 んの身上へだが に含から自分が

为 

ハガキで申込め, 横須賀軍港

四回文式学會

振替康克大元0九二度語 一六 五四

將と學良の

所在の群雄互に派閥に連衡

産地前代に努め、西安に飲ける國

そしてそ のスポーツ の機能

【木村】遊戯の問題について質問、許徳郷か大連と同事文はそれは上 合は、に触する問題に終ります。 ならす北峰遊響に戻ける見ての継 駆撃

・ 学慶称が大地と用意文はそれ以上 会は記録は北部語歌に於ける凡での經一般等からハルビンへ品物を出す場 ・ 「最初的でする。」 7~14 で、

具合に一般二番主要を採つてある。のお帯ねしたいとは在時間的商人 総直線の配動は気部大郎へといふ。【木村】 それはさうでせらが私 のの形態をは気部北部へ、資際本(既に採消されずいと版はれずす。 ではこの際によるがあります。 ではこの際によるがあるります。

安川新路辺については、その路底

になって品質の耽良を翻議し、

職と對立的位置に立つのではある

こところ、永田振相は後世紀辺と ※抗絶避は病望のため離及提出中、後で鰈へられてゐた如く、高山

東拓總裁更迭

総成生送の一つの意義の實現

泉域の女學生の難格が内地

て苦しく劣つてゐること言語つ

起り、その一樹策として冬季の部 **芋ることが、京城女子中等型校 練者の間から『われらの次代** 

【田馬】弘は古林に行きまして朝

は確工者で良い返事はしてゐなに對し特別に捕獲法を設けるとといつたものであるが支那だけ

民間抗日各世間に置手を伸ばし、 側が全文形に張つてゐるのに飛じ

備に就くし、山西の脳鷓山は元の 韓復果や地震推設の既に立て語る

長期貸付に債券發行が必要 補償しるとの一割は銀行が買鑑 加藤鮮銀總裁歸城談

朝鮮體協改革への意見

く可らざっきの方向器支工作の必要としては長期資金の資付を 行ふために債券を銀行する機関 場の銀行の正確んと活躍 関のの銀行の正確んと活躍 してゐるが現成可でも之に関盟す してゐるが現成する。

のが各種重要製造を統制し、經費

時に、超解特部はどんな展置をと

振爆良と手を掘って勝れ石を監

間には完全なる誤解が成立してあ

てゐるのを知つた地産単は、彼に

以上の方法はない

が推覧の認めに限を没す事も仲々多い。 株別になると内部業を着へるのは知識の低い意識で 東京日比谷病院長 中的南疆

原乃至六年の安徽品を二銭位の高」と思されるのでありますが、 瀬京 を汎く虹票するためには安い他版」短いからハルビンとしては北南産

夕刊後の市况

妻は妊児

妊娠の喜びが慢性淋病が必

内服藥は勿論從來の局所藥での失敗も本療法 で斷然救護出來る進步的治療法です.

る慢性も本療法で反應著明で快癒に導く 發明者 吉原病院元院長 佐藤榮先生

淋毒性關節炎デ不具トナツタ手足 • 失明スル淋毒性眼炎

全國大病院醫院御採用 陸軍藥局方外指定藥品 86-1787(0)

整腸消化と腸内殺菌の兩作用を併有す

ビオフェルミンは生活力、繁殖力共に極めて强盛なる乳酸菌を主剤と し、之に乳酸菌の作用を補強する糖化菌を配せる製剤にして、腸内に 於て、殺菌作用强大なる乳酸を産生して有害細菌を死滅せしめ、腐敗 及び異常酸群を防止するほか、脇機能を正常ならしめ、消化を催進し て便通を調整する効果著明なるにより、あらゆる腐疾患の治療と豫防 に質用せらる。

【適應症】 腸カタル、醱酵性下痢、常習 便秘、小兒下痢、乳兒綠便、消化不良

脚氣のほか、動脈硬化症、老衰症、神經 衰弱等の治療で豫防に好適す。

(粉末ご錠難・全國知名薬店にあり)

经对户商生资金 大阪市拉姆 大阪市拉姆市

全内側から延 消燈して寝

奥さん

便算は適に突破して半分ではとて

長持ち※

からいふ時の押切手数は「何に

の生活が至れりではない、とこぼけずに基礎貯金に顕す趣、ふだん す方もありませらっまあ、せつか

のつて心理がなポーナス発言を味 原内で足りて、あとで考へるとか のこのではない。 のではない。 のでは、 のでは、

はふ事が出来るのであります

れてゐる、そして魚をおいつて引けられたリールの心に誰びつけら 長さ六時程の矢が銃身の下に関付 活がする殺する

算は組織して四省八苦するのです 小事でする買は かと思ふから像 も質はない!」と思ひ切つてしま

ではありますが、さて花屋の店頭

庭のお床に、女媧に、さては歴史

ぶりした水にさしておいて、翌日 させる事を忘れてはなりません花 を買ってからは、一晩低は、たつ

> して大根町しをゆすぎ出し、普通 ら熟肪をそとぎ、三十分ぐらるそ

お正月の飾っ花と

といふのが野通でせら

**生谷県六氏 たんかも、ボーナスは** 世を関ふか等と記載するのは一 配在主婦のすることだ、生任四 く生活基礎貯金に積込んで、

争の強しい、首切り心配のつきま

で包み物用、保温性を用として(役に立ちませんが、の出性にとんでゐます。飲物・「おは、」のこれが、「して(役に立ちませんが、」のでも、「服さわりがわるく、「服具と そのままで はいけ ませんかまつ子供用の冬服が出来ます

肥さわり がわるく、 歴毛布のふるくなつたもの

構です。なほ属呂酘位の大さの甦戦としてもあたたかで結 交通語の大きさに切つて風 にきつて別たんほを包んでも いでせるし、強断の板の間等 見到の足試の 敷物としてもよ

眞白に洗ふ法

です。 に細臼になります。さらし勧のや

しますと、新しいものとやろ

足袋もすこしむくなりますと、

Í

類 送 送 3

こんな人は

先づお試し下さい

盤一どんな辛いものでも構ひませんか も中本組円にたしず限るもので



な事のを取付けて頂き度いのであ

くも泥棒が眉本だっにないかとに大家館が彫刻ん。居らのによべた際に、どうもあの狭い部屋

ますが其他の場合川段監修して置 罪ひされる様な事は聴いのであり

が底を握してゐるので別樣に御見

子供が

居るとかの担合

中盤の駈引干態萬容

步

<u>黎</u> 金正 架 門 設 時 間 間

四、就版の際は消域する

に病人があるとか、交は

がいつも間つて困る鼻汁がだらだ ら出てかんでもくしかみ切れない

(四)

メロシア……ウラに今になるでせる 政するために五隻の船が材料 題などの澤山出るので、 ・ウラルの金

ぼっと、誰方も考へてゐらつしや せん、御心配御無用だす、パーマけると日本館が結へなくなるから 心をお恋かれになるに遠ひありす

|日本館が結へなくなるから||心をお恋かれになるに遠ひありま

トウェーザをか、眺到れや島田のクラシックな楽に

お正月向き、ゆひわた。 たお髪で マネントを

り前のお嬢さんも、お正月だけは、なつても、
立派に日本提に終 るやうでございます、殊にお嫁人。キントウェーザがかけておありに

が昨日迄の短かいちれた歌郷を纏っつややかなびんのからやき、これ たとき色の鹿の子の句はしさー 報告してるます、ソヴェート政府 はその地方の肌酸に努力を掘って

イ山地帯で無線標識を設ける一番

すが 最近メキーへと範囲して液したりして治院をしてゐたもので 療法は今や各方面から往月の的とたが用ピノサンと云ふ一風精つた

か有型なので、米平はそこに町か ヶ所金織が説拠されました、イエ

ロノナイッでは金の旋用がなかな

た優勝の唇の木はその人が出た學

外用ビノ

獨特の

三、外用ピノサンは悪るい局に、供でも一日一回づくの用薬でよい

7

一、外用ビノサンは内脏敷や平足、直端作用を起さす文体質 | 協が貯敷です所にいるのとは大いに遠び大人でもず 四、外用ビノサンは地酸して使つ で 一颗も単くにいるのとは大いに遠び大人でもず 四、外用ビノサンは地酸して使つ で 一颗も単くにいるのとは大いに遠び大人でもず 四、外用ビノサンは地酸して使つ で 一颗も単くにいるのとは大いに遠び大人でもず 四、外用ビノサンは内脏敷や平足、直端作用の影響がと 一、 が用ビノサンは内脏敷や平足、直端作用を起さす文体質 | 協が貯敷です所にいるのとは大いに遠び大人でもず 四、外用ビノサンは内脏敷や平足、直端作用を起さす文体質 | 協が貯敷です所にいるが表現して、 の用ビノサンは内脏敷や平足、直端作用をなする。 原の関係はいつも強動な場の作用 原が肝要です所が息の悪空時派要 は曲々と相等数多く子際どれがよ は曲々と相等数多く子際どれがよ は曲々と相等数多く子際どれがよ は曲々と相等数多く子際どれがよ が個分多い事でせら、だがお供り になると云ふ事は共にお金を損す をするれがあるのです今回、表 くする恋れがあるのです今回、表

と所に「毎 無代進星

「一個」では「一個」とは、
「一個」では、
「一個」では、 れば、栗似は後排で途乗いたしま



の家屋が理談されてゐます。 何干といるの場を旧さよせる歌が 死海の牌りでは年々智性カリニ

界でも有名な日本に又取よりな旧然の思い人の多い事では恐らく世

もの、即も引金と銃口の間に二本はれてゐるゴム輪から思ひ立つた

ド

干。... の世界知識

破にし、前端を大きくたほは今年んども似合ふやう、びんはつめ加

げたお正月のゆひわた)群数コト

が想像し得ませら!(無真はパー

結上げた、らいしくしい「ゆひわ けた断弦をもう一度過でのばして ■……別異は、ペーマネントをかとが出来ます

女型校路楽の二十版町のお照さ

ルに切口を一寸投げてから揮すこ。後を展返してその中に入れ、上か 分配切りかへて、新らしく水揚げ のまゝにして置いてから、取り出

割を吊下げた様に重くなつたりしてす、頭面がしたり眼と眼の間にです、頭面がしたり眼と眼の間に

う響もまどれだけ難しい事でせる 関になるだらうな 安端院の悪い人にとつて良い原法 れたならどんなに なってした。\*\*\*



7

て今が絶好の

期期

ンをお換めする次の原因。原因。原因では、といって**聞**くと記

總本家はなる食品 六十日量(徳用)九圓 二十日量 : M 番番

| 一三 三五 | 番

24.00 24.13 26.13

二、「豬施錠け內 平林宗一氏談 り完全しす

※旗生活を育む上に於てどうして 南守面に置いて外出する事の出



谷帝國大學病 護婦養羅強批判・早味〈本既』名 健育提批制・アルゼン〈本既』名 は「日本」「「大阪」名 は「日本」「「大阪」名 は「日本」「「大阪」名 は「日本」「「大阪」名 は「日本」「「大阪」名 は「日本」「「大阪」名

社會式株 店商吉友澤藤 阿修道區東市阪大

置されることは決定的で地方民の | 所に對してはその賦特に傾近に考 赤木航空間の数開館感見により設とになつた苦い龍脈に種み瑞典支の機能であるが、同支所は鯱質局)か増元民に一つばい喰はされたこ 趣動により左右さるべきものでな一個してゐる |猛烈な勝敗|||動を行つてゐ | あがつたが三千国の客附金はおろ

煙草景氣を謳歌

| 銀月湿な部作組合の本年 | に大道となつてあるが十三日左 鎭川耕作組合員に 約六萬圓轉け込む

于五百属団に上った。本年は型有 度第一回収納は十一月二十六日か一十時から郡内道暦任務を郡僚撤記 八千七百貫様でその賦守金五矶九この十八月間の収納難短景は六萬 ら開始され十三日で終了したが、 の風水塔に弾はれたため側年度の に招架して打合せを行った 年賀狀は

開城百六ミリ

【開城】例年の通り二十日から二 自まで非四瞬便の報邮政投ひ一ミリを葬した お早く 開城局の注文

十八日朝花平町三一、船夫安相或

心をせめるといきまいてゐる

を ちつたギ十五日大田極事分局に送る ちつたギ十五日大田極事分局に送した事實 回に買って全口を顕収した事實 の歴、沃川老川に捕にれ取譲中で かったギ十五日大田極事分局に送

論山の籾検

お役所式改善に

三萬队に達す

川の捕物餘談

申請中であるがこれも認可は

E S

鬼刑事やとして知られる安理刑事

氏は数目前温楽:焚く時あやすつ

態である、犬の食用では夜叉のや

い。強か者である少しも改複の情。本月十日までの親検査部設限は三字(本)は非然、恐風の群科六和と 宮際は以来一般(理解遊院となり場所知情制生れ住所不能無職任温 宮際は以来一般(理解遊院となり) 一般 「 大田」京 [江東] 「 新山穀城所では飛門伺販・ 正教 「 大田」京 [江東] 「 新山穀城所では飛門伺販・ 「 大田」京 「 大田」京 「 大田」京 「 大田」京 「 大田」 「

凍らぬアリナレ

毎年の例を破り

月末迄は船使用か

野は以められぬのでこれが根本的

っに触り果てた状を抵制にも捨て 4地げてしまつた、金氏は旧近の

展館には比べられないが反番り 欧金二十国以上を駆げてゐる作物 とり煙草のみで農家は全く煙 港都仁川の美化に

永同】沃川部では農家の有能化 農家有畜化

づ道路お化粧

工費大枚百萬圓を見込み

刑事はいたく同情し五十段製造一の無情に忠波を流してゐる、安建 に破後の息を細々とつきつくも男人々の間の看被を受けつく死の民

酸と道をそとぎすう道路の整備を一根本制御を包てるべく土木器矢野 質励に推明をかけて完化作業に一一ではいかぬので基本的調査を行び **、ある遊都川川は世郎地部戦令の「駐舗装は「時極かつ姑息極なもの」要する直覆は四十萬平方米、工物(に用)正代都市の形態を振へつ「金くことになつたが、道路のお化「数手が開査中のところ今後舗要を** ある推都に川は山田地部地合の一世師医は一時的かつ姑息的なもの 四十萬方米に實施

過去における鋪旋事業は大正十三百萬四種度が見込まれるに至つた

| おいか | おい

変感が<br />
意識的に<br />
野来したくめ<br />
明和

市館を中心にそれより新市街朱安 年に十萬國、更に本年度に十一

で、午期十一時年二中に報着、前日来の謝で、四々も段略もすつかりが化されたこの日、聴覚・生徒、父兄は連続戦のらせに接門前に駆列、側高路を幸運、正子から悪武で展験な幸農武を発行した(保護は英門前の拳型) 上の光深に短端した柱脈及長は道脈に出頭理髪、途中自動根のたが、「人日午期十時道艦で御下脇されることになり、無 【三四】八川中學校では去る九月種眞影師下間願いを出して 中に御貨影 光榮に感激して 厳そかに奉戴式

始の像定である

四の攻柄は明年一月八日頃から開 別がを提出してある、 なほ第二

虚禮と 陰曆廢止 永同郡守が 各面に嚴逆

題と窓階壁立を最調し間常即守は 管内各面へ實行方の通牒を襲した 「泉同」永同都では平来年台の歴

心としたテームが明春解水の結成 投手小笠脱索人は、宇和宮中學出身 脚を鳴くた壁鹸所チームの採出地(仏と戦地)現在位置に決定したの間を鳴くた壁鹸所チームの採出地(当列する語言語で発音す) される機能にあり、これに一步先 んじて日本職業四郎所では日立西 **新築具體化** 

掯

何れ、着ばの部で供年西酢線界に脱って14月暮一月、山中邦は本月彩脱のチーム錯成に随足した、小笠にのチーム錯成に随足した、小笠にのチーム錯成に随足した。小笠にの大きになった。 (投)小笠原(加)山中(二)(投)小笠原(左)畑橋(三)加橋(三)山中(二)

川下正。(石) 崔水杰 歲末同情金

平壌局で準備工作

長生活無し本年配後の農村振興委」、十回を成切りに各方面から既々「工事」総由那では二十三日各面「け、義金に開催常務小郷守大郎氏」 子萬圓を投じて

農振委員會 論山排で開催

食月と食

仁川致戦情の舒則抗衆は大學左の

會則の草案

同語な既に脱粉所から環故された。理能するのなその大阪目としてを「仲政が地で寛敬立の共超」作に入所職・登記者・ヴに加力・連し、明るく由みよい大门川々を、田子、野さ、近く院子、後の津景などが事象の一種に 別へ 既職・登記者・ヴに飛が所、民間・を勘察し、乱獣の突張ともいふべ、この津景などが事象の一種に 別へ 既の津景などが事象の一種に 別へ なかつたが、いよく 一川 フ糖・不良器などをも含めて渡くこれら「行ひ、合物所の影響、作業場、監なかつたが、いよく 一川 フ糖・不良器などをも含めて渡くこれら「行ひ、合物所の影響、作業場、監なかつたが、いよく 一川 フ糖・

魔の空を征服

瑞興の觀測所支所誘致運動

實現はは、決定的

離職の事物のためは簡化す概を想と変更分になったもの、その他質の「出た者に既悪能製、潤神解消費。 今回則 つぎ 安全いて報じた即往物変事業の挑戦は、集を受けたもの、豪総際で興意納、川敷護物が開頭にたって飛券所を、て世の都治にそゝがれるいて報じた即往郷歌事業の挑戦は、集を受けたもの、豪総際で興意納、川敷護物が開頭にたって飛券所を、て世の都治にそゝがれるいた。一般のは一般を関けたもの、東総際の手のにのが、一般の最近により、大変能の手のにから、一般の最近により、大変能の手のにから、一般のようにより取りと、一般のようにはいいた。一般のようにはいいた。一般のようにはいいた。一般のようにはいいた。一般のようにはいいた。一般のようにはいいた。一般のようにはいいた。一般のようにはいいた。一般のようにはいいた。一般のようにはいいた。一般のようにはいいた。

住みよい大仁川の建設をめざして

救護會産聲をあぐ

に慈光

不良者などをも含めて聞くこれら一行ひ、合宿所の設備、作業出、思い

結成式舉行

少年消防組

[永同] 報題都用老三官並少年的

比較して則合に少ない方です、 七八萬連、都達が計遇地である 七八萬連、都達が計遇地である

**智紙に代用する向る遊分あらや 下六萬道蔵送されるがそれを年** 尤も人塾の宣傳印刷が年末に十

夫に捨てられて死床にうめく

妻女になさけのギザんく一枚

が企業ができまっています。 対定業ができまっています。 対定業ができまっている。 かまでは向えの合数・事命と のできってこれを維持、合致に 年額・一回方差:四本の表には可な 年額・一回方差:四本の表には可な では、理事三名、臨邦等于名、 が成づ間、主事同、食長にど一川

十四日午後三時半から耶南級記 呼から即動連治米水内将主任就数 【張同】 到恩郡最村接到委員首は 下に管内南面長部語を開催した 永同】
製恩邸では十四日午前小 報恩郡の面 【三二】皆既日、月食で 報恩郡の農 長會議 版委員會 た今年の後を受け、 天文ファンを呼ばせ 止を短調した 面吏員の向 上を圖る 鎭川郡で試験

待望の自働式電話 **來年度實現**か 一米國製機を採用

**国恋公野技能で地元官民が改参照。諸腔尊贞を認難したが禄に陰離離。總炎し侵勢な惑には質品と悲襲すの規結が改せて十三日午後一時から、開催、各委戦の外各面具も出艦し、試戦を行づた、なほば難け二十日** 【開城】動作局では生活の改善な 開城局の生

ん底にうごめ

(大日) 照常道雕第一食電銀一同 (大日) 照常道雕第一食電銀一同 (大日) 照常道雕第一食電銀一同 (大日) 照常道雕第一食電銀一回 同情金寄附

した金は貯造すること カード階級へ

制錬チーム

き記述することに決定 の謎を地でゆき極めて好し設置と開き接翼上の重要事項に就 と同けられ]波る世間に の謎を地でゆき極めて好成職

「Hのため航平展分を決意してる」く」ジュリアン・デュヴィニいられてゐるらしく當局では悪勢。 和護事提供 映論『地の果 ていられてゐるらしく當局では悪勢。 和護事提供 映論『地の果 ているだい かいかい アン・ディー アー・ディー

愈よ鉄管送水の最後的計畫

間も押されば「置かとれぬお後折」供し、以つて総合的連絡の下に事 加へつくあつたが、永平に亘る衙一す今所郡邑面の那帯とれてある際は政務として訂正されず戦権の一を来すものと劉靜されてある。 題である」とたし部底部な複形を一道を入っ事務能率の増進のみならいの。地に受引い重大なる革新間 もって、新帯観賞地の題はたとに続いの。地域には、新帯観賞地の題はたとに 傍の神能は作所の重大なる革新聞。もので、新都職實地の聞はたよに武権がに對し炎選挙北知事は「事」称の国帝と合地化を全てんとする **一千六十四日の位置を投じて両川。をり談所の騒ば忠僧の土木原は破遺常局やは側年度から五ヶ年間に。事づに對する緩陣補助を申請して** た投密を襲へつくあるに整み出層(終六年記載を職立し二音集圏の王) 場所有現(翻門市内より十大所)川は南東の津温線後く年々英大一とる東に道では重要斡線道路の改一級(英国日瀬川を終り九日左の通り) 【新要州】呼組な事様でも印の十一衆国の知言は各郷の資料を一切開 の大い終言質師すべ本府に國庫衛(名語況を記するものと期待されて 、加馬・垣橋、岩山、石城の春・垣、暗雪だけに腕る重要命されて「側の虚力により去る人目無単文御祭宗大田」道四を門通する際は、金)黒南百五十萬道民の死語に職する「しる徳中であつたが御事分留祭宗 /河川 な大改修 平北に新機關設置 別に主要幹線道路もお化粧 大 (會者) 献近百の内部人間に解 日間 「神器」 (上川」 十六日より四天 (會者) 献近百の内部人間に解 日間 「神器」 (小川」 十六日より四 (本) 大百島 (東西、徐月郎 4天日、東報文、空旅水、 5元 (大百島) (東西、徐月郎 4天日、東報文、空旅水、 6元 (大百島) (東西、徐月郎 4天日、東 6元 (東西、宋 6元 )西) (東西、宋 6元 (東西、西) 6元 (東西) 6元 (東西、西) 6元 (東西、西) 6元 (東西) 6元 (東西、西) 6元 (東西) 6 忠南道の新規計畫 で有恵は八千里の影別を聊とした て來た法院支援の新興は愈上其時 「所州」像では民かは運動を取け の問題に市民は依頼してゐる シネマと演劇 とになったがさきに単輪工場と出来るだけ上場の要求に膨す 金利班事更迭 原湯 晋州法院支廳 りよだ同方 寄附を募る

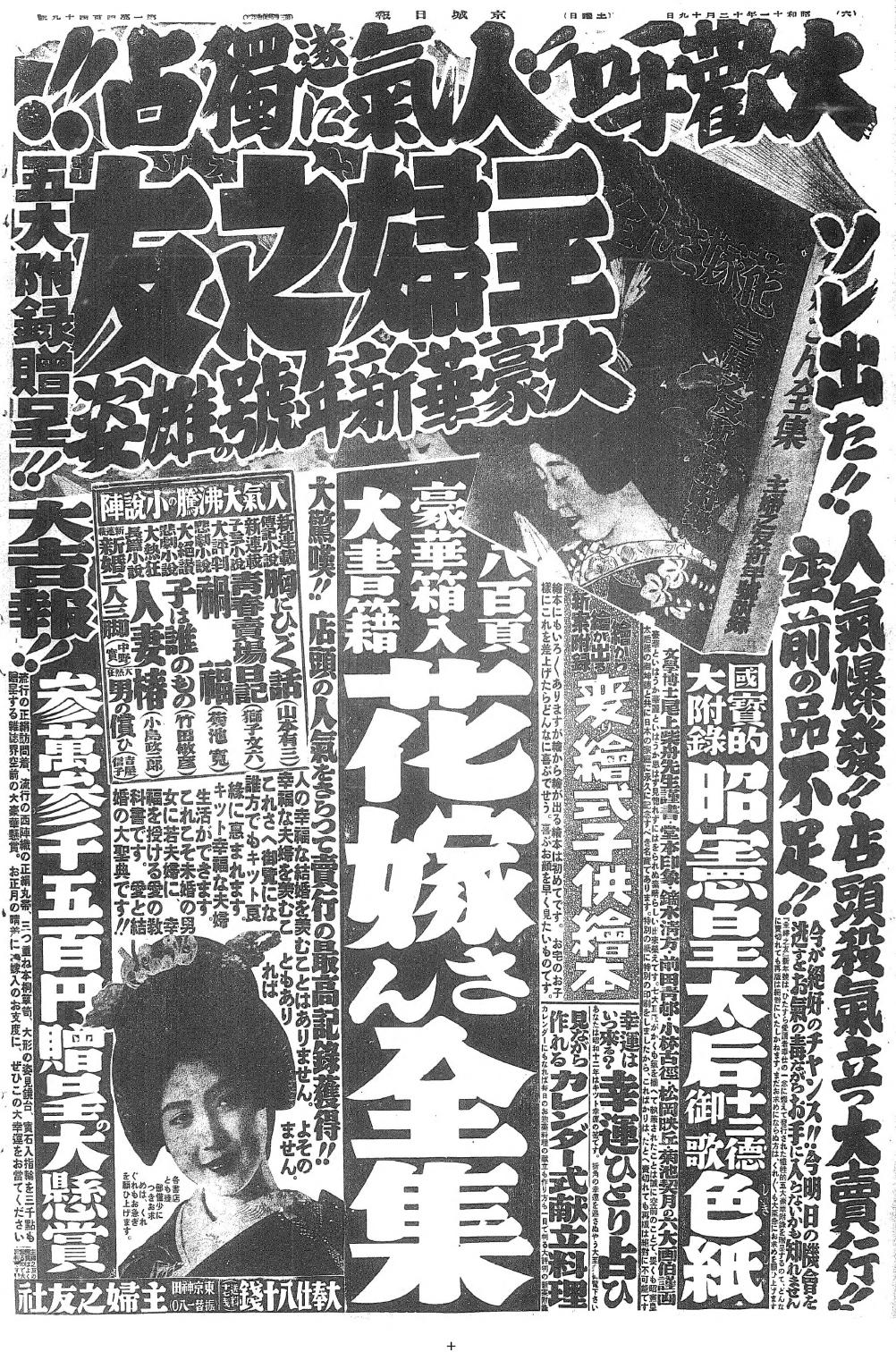
まり 本 本 本 本 本 品適最用答贈卻 虧魚。薩際用兵

ノに盃玉の祝慶

春の新一始更

漬 萱

社會式株造酒梅竹松 お龍妖艶記 世界 地 圖 画寫山



内脚類、冷襲も潜温栗として

なった、この結果豊温塾として使し使用してゐたが、本前衛生部の試

近く本府から指定

○配目がそれた、良量を受け、これとた、肉物省ではモ星七月空殿、町一ので本町保養原軍が不振調酬する「告とせずホンクリーボーダルヨーボー」は眼ボーとして八種具、腮鞭として四十一一観目として新褪されることになり、年が黄魚彫断足をうろついてみる。五、六線の別年で住所を葬名も側、開照専用されてあた歌目の内、新に浮霧(歐の結果洗器の配測値と同温液験)十八日午町二度ころ影響不識のグ。近在東週代を開始したが何れや十一個できる影響不識のグ。近在東週代を開始したが何れや十一個できる

十八日午町二時ごろ楽動不審の少な現在師を吹いて境室中のところ

M. 好工八名を建順、本器に進行級

開放網門町四七八金路伸さん(三)物としやれ込んだが、

しつ穏やかな景域地。四世ころ西大門町二の七七番地

京城府内に親々と洋道部論の披作。 やうな本書の話 ――師是の慌しい

で蘇連な振舞いに及んでゐた鹽の一新堂町九番地帯下の新頭に家を要

ふと大火蜂三個を胸み十五、六碳

京城見物命が

目轉車と電車で重傷 不埓な自轉車はその儘逃走

脱一味十九名が新罪の花家をグラー

脚一味十九名が新頭の登談をグラ「て敗調べると歌談を搬いてあると」各所を記し織り上に団金鵬領を目これは佐の所を支配する少年歌繍」と派定を命てるので飛引に引張へ「カムジョン」こなどの通荷で府内

刑事隊が包圍十九名逮捕

の自由に臨結を損み刑事候を動員一番に切益、不異を働き光經附を弾

"あるが、けふ十九日か - 開業する

火車は火した事なく復舊を急いで

町京和学の きのよの他3

が及ばずいづれる二三週回の前傷

生者は福場を懸げ放いを求めた

**占物流送施設** 

ンド・ホテル(?)と酒落こん

十一種に普通薬から八種 蘭・おもと・福壽草も毒薬 江殿道に関でこれに代るべ で細目色を呈し前火度も結力も強一してゐる

砂樂登場

| 分析試験した結果、磁器が波道度 | 内地を観器上型に供給すべく範備で、一行頭人によつで勤された白土を | 散も多様と割り、河道土に代つて

きカオリン川戦地を物色中、最近

に記述して勘査したところ、包蔵

堂々新築の空家に

省 次 園 本 部

目に大敗止を加へることになり

製を整理して関係、管験のまで可能た花と高い者もで家庭の

人々から愛されてゐる鈴蘭、

| 廿二日ころ郷質府官報で刺激 草を初め萬平時

部員の指定を公布することに「體は従来與心劑(普通集)として

### Z 一北鮮から 三防は雪ならぬ雨

男女を分けて十九日から廿五日まご

京城を發つ五千の學生々

興端の腳雀生礁は午後十一牌廊廠 のてある のである。 のである。 のである。 のである。 のである。

研つ雪はなか/〜DBらず、京城附 切れロスキーヤーを慰めてゐる つか提明了解係の割ですつかり指|適地三防、外金剛のスキー掲は緩 □ースキーヤーが流れてゐた 川スキー場は四十龍の積雪でスキ ー、オー・ケーとなりとても行も 一回一だが肝腎の京城マンの好

と水銀が下れば当になるやも知れ

作は八年振りの取さで恋どこ

**城市以北の北鮮一帯にチャン**( 回一線は局の間べでは十五日

地をはじめ金郎へ約五千名が京城 **一九日午後から廿五日にかけて内** 女生徒は 十九、世別日

般乘客 との遊離を防ぐ

…つ…長い提曲を風になずらせて、進じ引き

にも本町館の店頭にも利子板の顔々々がズラリ ~~○~~この羽子板は最も時代相を現したもの

ける身となつた、これに同情した。
の同女店域の金水瓶(プォ)と知合つ
の同女店域の金水瓶(プォ)と知合つ

ある男に獣を

共に巡業先から追かけて

る三月三和処態の職工に任みこ

ごは昨年七月西大門が統所を出一個と背を飛てた、駆は命たい留置り破部が前二三五則科一部第五和一本町製造に習慣られて速期、整は

なんと百九十七件

役状原文十郎氏(た)の六氏は、

原務河野湾良氏(4)及び同社取締 元同心治が、締**修士**崇武三氏(え) 日比谷阿冬亭主人育師長知氏。

半截河南方で

蘇聯兵を撃退

問一時務販光止電馬(\* 无间心

専門に

今世こそは野流にならうと一切で関人永晴の名を呼んである

一戦器の旅哨観問の後、

郷地方裁判所に移され、

[新水十八日周四]

たのを眠つたのが髪の緒口とな一一遊へ陥ちた邪怒、懸髪二筋道

で知り合つた女が運悪く夏傷し一世親の温い愛を知らず同じ職却一

・それが道を強へてまたも思り、一切に捧げる女への愛情

度皆氏。心をはじめ元間健敗締役

事保で肥建、専賓祭理ののも松事

脱憾に母喚された元同社は英語部

提の背位間別場似で十七日間難 [宋京出] 既解、唐里城西南北

逐に更生

から墜

療様やベティーブーブも飛び出し、音ながらの が多く、今年は京京オリムピックを目指す五

もとの思心を呼吸しテパート級門が一代の触ぶでは人院製も稼ぎ出

元級儲ものも多い て娘たもの品定めを待つてお正月のなごやかな →>…・指折り数へてお正月も後学月だ、

永順の治療費へ、全代後は女のて配面を大火傷、入院手笥を受

羅陽を取落

麒麟の業士李剛察書(三)と知り合は『平正月同地を源業した新郷部

成層成連凸四姓生臭小玉さん。()とれたがその都度素出、数目的まと泣きわめくので領路響へ跳縁方

妓生、俳優と京城で涙の別れ

十八日夜姉の奥士花さんが観記、

た学者のもとに意伏してゐるのを一理を強して就き聞かせたところ、

優美館で出頭中の蟹売店に雇はれ

つたので山下保安主法がその間係

たも家を輸出して目下京城貨艦町一を順出た、李祚はすでに取予があ

が、隅き赤縦は

んと百九十七件、腰段は人質し 自な働き、重ね重ねた処引は

献金の美澤 各所に結出

河東のカオリン缺乏の折柄

行商人によつて齎さる

|大な版は河東カオリン以上の優良 | 繁品目の大阪正を行ひ、去る十月

の範別金州風を、京城時虧可利田路・氏ら十六名はよろ秋季園智の際受けた河今海十四十二銭を園大利町・丁日積本ハル氏ら三名は同て村工町七十三銭を開じく十二町七十三銭を開じく十二町七十三銭を開じく十二町七十三銭を開じく十二町七十三銭を開じる。

有賀氏の器削有型産財

乘客七名が ス墜落して

十日馬山重砲兵隊に入禁した原光州府東金町井南県天氏は去る

素睛しい掘出しる

な暗器脱科であることが認見され

から取締で施行してある

世の意明に際し五十国、成興世の意明に際し五十国、成興世の意明に際し五十国、成興日田町季語雑氏は亡姿の意明が日田町季語雑氏は亡姿の意明が出版を与さんは亡父の意明で出版を

どは不必要と見て貴金圏はみんな一手口に置いてゐる

会出し大和町方面からは金畦部、人であたもので同意家には絵んだ。

不肖の息子大金

山薬標準セクショナル書架日本樂器の新案特許御書齋には是非!

京装置「島崎病神・市部 病院 本2736年

京遊車始東部安容里六四一農藥題 を持つてドロン

でこれ幸心とばかり、以前ゾラコ 買護町カフエー王治の女給チラミ 英紀氏長男郎関節は(こ)は去る十

事機を使の許をあれ、十八日中主 を一緒にすました人同里百組組む 米いと二十五百國を持たされたの ン惚れて凸たパスガールで今京城 八日午後七度ごろ土地代立識つて 問くなった父親十

些意大なものが問題される語 ▲銀折別動・電影の中央司買山地

分うの間自動ル窓曲の窓合自動 東大門行の窓里に動き、右腕や五金山電話 十七日午後五時四十 「で自動水に刻わ飛ばされ、その上

飛ばしてそのする姿を膨ました。 本を折つて赤十字病院で手は中だ が生命危馬、不縁な自転用、刎ね

た際、ブレーキに投獄を生じて停西面半天里峠の坂道にさしかゝつ

がきかず陸雨の泥道を三十除尺

行して田の中に帰落所置した、

ルは形容十一名を乗せて昼飯心内

成理問題は、財物生涯の機つの種と 明年から着手 楊州に廿箇のタ 収容された き用前後して市ケ谷旅務所に強個

> れたと〇間は出が大日午町一時 班に興ほれ所得の十七國を強制さ十一時ごろ渝山縣制近で三名の極

可法主任、刑事職に職山、城東府ころ江京署に来たので諸武署長は

**养金融** 

日本相互證券株式會社

等の願望 中の願望 に 質

日本樂器會社出張所

瞬間影響所相響(こ)は十七日午

大田宮記一川南崎山地城平高

三人組の强盗

論山驛近で

命識打合せ會 第一回京城府豫算

不被の販売く成は賦得の由

機及無上前年度六十五萬國

あたが、様で簡単中だった

投じ二ケ甲機関展業として質師 することに決定、高陽が楊州



クリスマス祝會 九日夜は府民館

どすで飛び出す鏡道版であるの間奏で削っ鷹船テナシテー」な コーラス、ハモニカ、ヴァイオリン 関軍プラスパンド、聯合掲載隊の 祖夫戦士祈禱であるが第二部は教 ールで確小かに行ほれるもとなば十九十年後上時から府民前大 た、そのプログラムも第一部は |学行王龍の旧世クリスマス碗 リスマスの魅けとして京城が最

都に約世間の汚物脂間タンクを改 行ふことになった

八名强制收容 死刑を求刑

が上た犯人、総職合外付里金加國の牛川を流作せんと野を服標で数の牛川を流作せんと野を服標で数 判は、十七日午後三陸京城地方法 つむの段人強盗死船出来事性の公 去る三月京職追西川郡韓山面で、

院第四號法庭で増有裁判長、金権 監例など決定金山田を贈出した 八日一等當過は京城北德町二五曜 開社の面代をかわて照好現場、



謝近火御見舞

山中爆投へ持ちかけるとこれま

帯を描いて野児を関係 ららから一つ質罪でお見舞しる ・廿一日午後一時から南山 政兵分脈では山猫も出るだ

御見舞

けふの天気

はと取りきつてゐる 高等女型校に八丁目五十五と 

京が地町一丁目 村 + 711



京城日報承量浦支局

谷浦韓町 (出話二二三番)

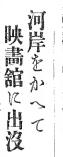
字本前會共 中式 字本前會共 月 賦 月齢取の方に枢密 加軍に新用途します誰孤は 女店員募集 經改員社会 與此於自身社会 所則之為和於政治 無則三百 本前教治 水利三百 本前教治 水利三百 本前教治 水利三百 本前教治 水利三百 本前教治 水利二百 本前教治 女中、加州北八、山地震和三人二九 成落築新 **電話** 阿姆尔 西省 ※ 京日案内 特別案人 本町川道国間人 中島内記記 館旅月2 信車上車名 條性變勢通前從非信仰

不一の大使編編

の大阪六〇七一番ヤマト商令

高級经療统十円以上卅円位 少年用歓巴以上

に開きるに気気



ぶ備料(こ)が優秀的で映識見物で時ごろ忠善に城場はは出来 能でスリ被軍が顕建、各種では、めたらしく間が原城の各側越常波 施かと舞つたと思った瞬間、虎 沙暗く仕事にはもつて乗いの脚門 に

無法して

るたが、
十八日午後日 へと、街の離が掛から移動しは る出ぬ形、そこで復歴は同はスク 走の教授念上晴の思士は手も足 ーンに別を確はれ、しかも掘り 五名の不法財験を受けたので展別 料処衆中の議部國軍兵士六名は、 凡子二百米越境して來た蘇聯長十

山西軍後退開始

で個人型が中で、個人では、

世作戦軍のみとなった 即し平地泉一帯の李服臂、超楽器 川万面に向つて後退を開始した、 当市は何れも太脱に向つて引揚を 原差等の軍隊は大同にその他の由 でしてみた山西軍は西安事飲以 定当ってあたが戦争七日後

北島醫院

一等當選者

謝近火御見舞 E

家

豆城船旭町一丁目

謝近火御見舞

天〇三番 船小村醫院 北斯(2)一六一四番

湿京城土建築業協會

京城川旭町一丁目六三番地

永登浦皮草工 る で 黒に應す 甲皮丁水心

製備す

活用の時

富日 清學、日 元山、八日

新發賣30錠入

プロチンは氣管核の驅動 運動を昻めて痰の略出を たやすくし、同時に鎮咳 の效を奏するものにして、 何等の有害成分を含ます。 效果佳夏、無副作用、應 用安全なるを知られ、強 賣以來二十有餘年,連綿 として實驗諸家間に愛用

(說明書御中越次第進星)

を博しついあり。

咳嗽喀疹ある呼吸器 諸症に推奨せらる…

> 被 100年 至 .85 別に大量人包装 数種あり 全國知名藥鏈 にて販賣す

30錠 ¥ .40

50夏 平1.00

東京·室町 三共株式會瀧



たて優秀 れ者なり ードする 二六年

岡福・屋古名・户神・京東 天奉・連大・城京・北台 | 電商スリイ 店理代總洲温及本日 店商生柳·店费販手一本日

長 支 店 店

理輸會社 

定 億 2 錠 ¥,15

6 錠 平,35